| 分野 | 42 | 道路・交通 | 通番 91 |
|---|---|---|---|
| 施策 | 421 | 交通ネットワークの充実 | |
| 5年後の目標 | | 超高齢社会やエコライフ実践を踏まえた交通ネットワークが充実しており、誰もが安心して快適に移動できている。 | |

## 概要

**P（概要）**

| 実施計画名称（予算事業名称） | 予算科目 | | | | 決算額（円） | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 会計 | 款 | 項 | 目 | | |
| 地域公共交通ビジョンの推進 | 一般 | 8 | 4 | 1 | 34,963,781（公共交通基盤整備事業） | 交通政策課 |
| | 一般 | 8 | 4 | 1 | 19,444,928（コミュニティバス運行事業） | |

**事業の概要**

路線バスの運行や車両整備等に関する財政支援、ベンチやバス停上屋の設置等によるバス待ち環境整備を行い、利便性の向上を図ります。
また、市内全域での円滑な移動を行えるようバス路線網のあり方について、市民・事業者と連携し検討を行います。
コミュニティバスの運行について済生会京都府病院の移転を見据えたルートの検討を進めていきます。

## 令和元年度の取組

**D（取組）**

| 指標 | 市内路線バスノンステップバス導入率 | | | | | 単位 | % |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 現　状（計画策定時） | 年度 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 | |
| 54.0（平成26年度） | 目標 | 76.0 | 82.0 | 88.0 | 94.0 | 100 | |
| | 実績 | 86.4 | 95.0 | 100.0 | 100.0 | | |

| 指標 | はっぴぃバス利用者数 | | | | | 単位 | 人/便 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 現　状（計画策定時） | 年度 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 | |
| 13.3（平成26年度） | 目標 | 13.8 | 14.1 | 14.4 | 14.7 | 15.0 | |
| | 実績 | 13.6 | 13.6 | 13.5 | 13.0 | | |

・バス待ち環境向上のため、バス停の上屋及びベンチの設置を行いました。
・路線バスでは、ノンステップバスの導入について、本市でも経費の一部を補助（375,000円）しました。
・はっぴぃバスでは、夏休みや冬休みに小学生無料乗車期間を設けるなどし、利用促進に努めました。
・運転免許証自主返納者に対し、路線バスやはっぴぃバスの乗り方、乗継方法等について丁寧な説明を行い、利用促進に努めました。
・環境フェアでのコミュニティバスの出店やガラシャ祭りの特別運行によりコミュニティバスの啓発を行うなどしました。

ノンステップバス

## 施策の「5年後の目標」に対する評価

### 令和元年度の達成状況

**C（評価）**

| | 関連する評価指標 | 評価指標の傾向・トレンド | 対応頁 |
|---|---|---|---|
| 評価指標 | はっぴぃバス・路線バスの利用者数 | ・はっぴぃバスの利用者数は、ここ数年横ばい傾向です。<br>・阪急バスの利用者数は、人口構造の変化等により大きく減少しましたが、ここ数年は下げ止まっています。 | 205 |
| 達成度合 | B：目標をほぼ達成できた（目標の80%～100%程度） | 達成状況：・はっぴぃバスの利用者数は、平成30年度と比べ、１便あたり0.5人減少しました。 | |
| 課題等 | ・はっぴぃバスの利用者数は、前年度比0.5人/便の減少となりました。 | | |

## 目標達成に向けての次年度以降の対応

**A（行動）**

| 方向性 | 対応策等 |
|---|---|
| 1：計画通りに進めることが適当 | ・路線バスの利用促進を図るため、乗り降りしやすいノンステップバスの車両更新等に対し、引き続き補助を行います。<br>・運転免許証自主返納者に対し、路線バスやはっぴぃバスの乗り方、乗継方法等について丁寧な説明を行い、利用促進を図ります。<br>・今年度から、済生会京都府病院の移転に伴うはっぴぃバスのルート変更について、地域公共交通会議や利用者の意見を踏まえ検討します。 |

| 分野 | 42 | 道路・交通 | 通番 92 |
|---|---|---|---|
| 施策 | 421 | 交通ネットワークの充実 | |
| **5年後の目標** | | 超高齢社会やエコライフ実践を踏まえた交通ネットワークが充実しており、誰もが安心して快適に移動できている。 | |

## 概要

**P（概要）**

| 実施計画名称（予算事業名称） | 予算科目 | | | | 決算額（円） | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 会計 | 款 | 項 | 目 | | |
| **市営駐車場管理運営事業** | 駐車場 | 1 | 1 | 1 | 17,121,051 | 交通政策課 |

事業の概要

指定管理者制度を活用し、都心部の買物施設等の利用者へのパーク＆ライド割引の導入によりサービスの向上に努め、駐車場の効率的な管理運営を行います。

## 令和元年度の取組

**D（取組）**

| 指標 | | 長岡京駅西駐車場回転率 | | | | 単位 | 回転／日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 現　状（計画策定時） | 年度 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 | |
| 2.70（平成26年度） | 目標 | 2.70 | 2.70 | 2.75 | 2.75 | 2.80 | |
| | 実績 | 2.64 | 2.73 | 2.82 | 2.75 | | |

| 指標 | | 西山天王山駅東駐車場回転率 | | | | 単位 | 回転／日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 現　状（計画策定時） | 年度 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 | |
| 1.47（平成26年度） | 目標 | 1.50 | 1.50 | 1.55 | 1.55 | 1.60 | |
| | 実績 | 1.54 | 1.65 | 1.77 | 1.74 | | |

・ＪＲ長岡京駅周辺に長岡京駅西駐車場（普通自動車等388台、自動二輪車23台）を、阪急西山天王山駅周辺に西山天王山駅東駐車場（普通自動車等41台、自動二輪車６台）を設置し、指定管理者に管理権限を委任しています。
・令和元年度においては、西山天王山駅東駐車場において、夜間上限料金を新たに設定し、夜間の利用促進を図りました。また、長岡京駅西駐車場においては、利用者がより安全に利用できるよう精算機付近の照明を増設しました。

長岡京駅西駐車場

## 施策の「5年後の目標」に対する評価

令和元年度の達成状況

**C（評価）**

| 評価指標 | 関連する評価指標 | 評価指標の傾向・トレンド | 対応頁 |
|---|---|---|---|
| | ― | ― | ― |

| 達成度合 | 達成状況 |
|---|---|
| A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上） | ・令和元年度の長岡京駅西駐車場の利用台数は、390,011台（一時利用349,199台　終日利用22,729台　定期利用18,083台）で、回転率は2.75台/日となり目標を達成しました。<br>・西山天王山駅東駐車場は、一時利用だけの駐車場となっており、利用台数は26,116台で回転率は1.74台/日となり、目標を上回りました。 |

課題等

・長岡京駅西駐車場、西山天王山駅東駐車場ともに令和２年３月より、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、外出自粛等の影響で利用台数が大きく減少しており、令和２年度においても利用台数の減少が見込まれます。

## 目標達成に向けての次年度以降の対応

**A（行動）**

| 方向性 | 対応策等 |
|---|---|
| 1：計画通りに進めることが適当 | ・引き続き、指定管理者に駐車場運営を委託します。<br>・西山天王山駅東駐車場については、令和２年度中に令和３年度からの新たな指定管理者を募集し、選定します。<br>・経年劣化した施設や設備については、計画的に更新します。<br>・安定した駐車場の管理運営を維持するため、指定管理者と密に連携し、必要な対策を実施します。 |

| 分野 | 42 | 道路・交通 | 通番 93 |
|---|---|---|---|
| 施策 | 421 | 交通ネットワークの充実 | |
| **5年後の目標** | | 超高齢社会やエコライフ実践を踏まえた交通ネットワークが充実しており、誰もが安心して快適に移動できている。 | |

## 概要

| | 実施計画名称（予算事業名称） | 予算科目 | | | | 決算額（円） | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 会計 | 款 | 項 | 目 | | |
| P（概要） | **放置自転車防止事業** | 一般 | 8 | 2 | 3 | 8,688,668 | 交通政策課 |

事業の概要

歩行者の安全や道路の通行機能の円滑化を保全するために、放置自転車を無くすための自転車等利用者への啓発・指導及び駐輪場への誘導と合わせて、自転車等放置禁止区域での放置自転車の撤去を行います。

## 令和元年度の取組

D（取組）

| 指標 | | 放置自転車台数 | | | | 単位 | 台／日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 現　状（計画策定時） | 年度 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 | |
| 12.0（平成26年度） | 目標 | 11.0 | 11.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | |
| | 実績 | 6.46 | 5.94 | 5.83 | 8.51 | | |

・駐輪場への利用誘導、放置自転車等への啓発や警告シールの貼り付けなどの啓発活動を行いました。（年間240日実施）
・通常の活動に加え、店舗利用者に対しても、店舗等と協力し道路にはみ出さず店舗駐輪場に駐輪するよう呼びかける啓発活動を行いました。
・定期的に放置自転車等の撤去を行いました。（年間15日実施）
・自転車等放置禁止区域を示す路面シールを増設しました。

放置自転車等撤去の様子

## 施策の「5年後の目標」に対する評価

令和元年度の達成状況

C（評価）

| 評価指標 | 関連する評価指標 | 評価指標の傾向・トレンド | 対応頁 |
|---|---|---|---|
| | ― | ― | ― |

| 達成度合 | 達成状況 |
|---|---|
| C：目標の一部を達成できなかった | ・令和元年度の放置自転車台数は１日あたり8.51台となり、令和元年度目標の６台を大きく上回りました。<br>・ＪＲ長岡京駅周辺で特に放置自転車等が増えており、平成30年度には１日あたり2.96台だったものが、令和元年度には5.16台となっています。 |

課題等

・阪急長岡天神駅や阪急西山天王山駅周辺と比べてＪＲ長岡京駅周辺で放置自転車等の増加が顕著であり、放置自転車等の状況に合わせて啓発活動を見直す必要があります。

## 目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

| 方向性 | 対応策等 |
|---|---|
| 2：進め方の改善の検討が必要 | ・駐輪場への利用誘導、放置自転車等への啓発や警告シールの貼り付けなどの啓発活動を行う人員の配置を見直し、放置自転車等が少ない阪急西山天王山駅周辺の配置を減らし、放置自転車等が増加しているJR長岡京駅周辺の配置を増やします。 |